

1. 教科の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 自然の事物・現象について理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験を行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究する態度を養う。

2. 学習内容

【第1学年】

いろいろな生物とその共通点、身のまわりの物質、光・音・力による現象、活きている地球

【第2学年】

生物の体のつくりとはたらき、化学変化と原子・分子、地球の大気と天気の変化、電流のその利用

【第3学年】

生命の連続性、化学変化とイオン、宇宙を観る、運動とエネルギー、自然と人間

3. 評価の観点・評価方法

評価の観点	内 容	評価の方法
知識・技能	自然の事象・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーテスト（単元テスト、定期テスト）への取組 ・観察・実験への取組 ・ワークシートへの取組
思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーテスト（単元テスト、定期テスト）への取組 ・発表・話し合い活動への取組 ・ワークシート（考察）への取組
科学的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述内容 ・授業中の発言の内容 ・観察・実験での言動

4. 評価

- 5 例) AAA
- 4 例) AAB
- 3 例) ABB BBB BBC
- 2 例) BCC
- 2 or 1 例) CCC

<単元テストについて>

- 方法：ペーパーテストにて実施（評価に含む）
- 年間計画：1年生…分野ごとに2回程度
- 2年生…分野ごとに2回程度
- 3年生…分野ごとに2回程度
- 具体的な実施日は進度や時間割をもとに1週間以上の余裕をもって生徒に伝える。

5. 学習計画

(1) 第1学年

	月	項目・単元名		月	項目・単元名
1 学 期	4	理科室の決まりと応急処置	2 学 期	11	エネルギー 第1章光による現象 1. 光の進み方 2. 光が通りぬけるときのようす 3. レンズのはたらき 第2章音による現象 1. 音の伝わり方 2. 音の大小と高低
	5	第1章植物の特徴と分類 1. 花のつくり 2. 子葉、葉、根のつくり			
	6	3. 種子をつくらない植物 4. 植物の分類			
	7	第2章動物の特徴と分類 1. 動物の体のつくりと生活 2. 背骨のある動物 3. 背骨のない動物			
2 学 期	9	物質 第1章いろいろな物質とその性質 1. 物質の区別 2. 重さ・体積と物質の区別 第2章いろいろな気体とその性質 1. 気体の区別 2. 身のまわりのものから発生した気体の区別	3 学 期	1	地球 第1章身近な大地 1. 身近な大地の変化 2. 地域の大地の観察
	10	第3章水溶液の性質 1. 物質のとけ方 2. 濃さの表し方 3. 溶質のとり出し方 第4章物質のすがたとその変化 1. 物質のすがたの変化 2. 状態変化と温度 3. 混合物の分け方		2	第2章ゆれる大地 1. ゆれの発生と伝わり方 2. ゆれの大きさ 3. 日本列島の地震
				3	第3章火をふく大地 1. 火山の噴火 2. マグマの性質と火山 3. マグマからできた岩石 4. 日本列島の火山
					第4章語る大地 1. 地層のでき方 2. 地層の岩石 3. 地層・化石と大地の歴史 4. 大地の恵みと災害

(2) 第2学年

	月	項目・単元名		月	項目・単元名	
1 学 期	4	物質 第1章物質の成り立ち 1. 物質を加熱したときの変化 2. 水溶液に電流を流したときの変化 3. 物質のもとになる粒子 4. 原子が結びついてできる粒子	2 学 期	12	地球 第1章地球をとり巻く大気のようにす 1. 大気の中ではたらく力 2. 大気のようにすを観測する	
	5	第2章物質の表し方 1. 物質を表す記録 2. 物質を表す式 3. 化学変化を表す式			第2章大気中の水の変化 1. 霧のでき方 2. 雲のでき方 3. 空気にふくまれる水蒸気の量	
	6	第3章さまざまな化学変化 1. 物質どうしが結びつく変化 2. 物質が酸素と結びつく変化 3. 酸化物から酸素をとり除く変化				第3章天気の変化と大気の動き 1. 風がふくしくみ 2. 大気の動きによる天気の変化 3. 地球規模での大気の動き
	7	第4章化学変化と物質の質量 1. 化学変化の前後での物質の質量 2. 反応する物質どうしの質量の割合				
2 学 期	9	生命 第1章生物の体をつくるもの 1. 生物の体の成り立ち 2. 細胞のつくり 3. 細胞のはたらき	3 学 期	2	エネルギー 第1章電流の性質 1. 電流が流れる道すじ 2. 回路に流れる電流 3. 回路に加わる電圧	
	10	第2章植物の体のつくりとはたらき 1. 栄養分をつくる 2. 植物の呼吸 3. 水や栄養分を運ぶ			第2章電流の正体 1. 静電気 2. 静電気と電流の関係 3. 電流の正体 4. 放射線の発見とその利用	
	11	第3章動物の体のつくりとはたらき 1. 栄養分をとり入れる 2. 動物の呼吸 3. 不要な物質のゆくえ 4. 物質を運ぶ				第3章電流と磁界 1. 磁界 2. モーターのしくみ 3. 発電機のしくみ
		第4章動物の行動のしくみ 1. 感じとるしくみ 2. 刺激を伝えたり反応したりするしくみ 3. 運動のしくみ				

(3) 第3学年

	月	項目・単元名		月	項目・単元名
1 学 期	4	生命 第1章生物のふえ方と成長 1. 生物のふえ方 2. 細胞のふえ方 第2章遺伝の規則性と遺伝子 1. 親から子への特徴の伝わり方 2. 遺伝のしくみ 3. 遺伝子の本体	2 学 期	12	第2章物体の運動 1. 運動の表し方 2. 水平面上での物体の運動 3. 斜面上での物体の運動 4. 物体間での力のおよぼし合い 第3章仕事とエネルギー 1. 仕事 2. エネルギー 3. 位置エネルギーと運動エネルギー 第4章多様なエネルギーとその移り変わり 1. エネルギーの種類 2. エネルギーの変換と保存 3. 熱の移動
	5	第3章生物の種類の多様性と進化 1. 生物の共通性と多様性 2. 進化の証拠 3. 生物の移り変わりと進化			
	6	物質 第1章水溶液とイオン 1. 水溶液にすると電流が流れる物質 2. 電解質の水溶液に電流が流れたときの変化 3. 電気を帯びた粒子の正体 第2章電池とイオン 1. 金属のイオンへのなりやすさ 2. 電池のしくみ 3. 日常生活と電池 第3章酸・アルカリと塩	1	第5章エネルギー資源とその利用 1. 生活を支えるエネルギー 2. エネルギーの利用上の課題 3. エネルギーの有効利用	
2 学 期	7	1. 酸性やアルカリ性の水溶液の性質 2. 酸性やアルカリ性の性質を決めているもの 3. 酸性・アルカリ性の強さ 4. 酸とアルカリを混ぜたときの変化 5. イオンで考える中和	2	自然と人間 第1章自然界のつり合い 1. 生物どうしのつながり 2. 生態系における生物の数量的関係 3. 生物の遺骸のゆくえ 4. 生物の活動を通じた物質の循環 第2章さまざまな物質の利用と人間 1. 天然の物質と人工の物質 2. プラスチック	
	9	地球 第1章地球から宇宙へ 1. 地球・月・太陽 2. 太陽系 3. 宇宙の広がり 第2章太陽と恒星の動き 1. 太陽の動き 2. 星座の動き 第3章と金星の動きと見え方 1. 月の動きと見え方 2. 金星の動きと見え方	3 学 期	第3章科学技術の発展 1. 科学技術の発展の歴史 2. 科学技術の利用とくらし 第4章人間と環境 1. 身近な自然環境の調査 2. 自然が人間の生活におよぼす影響 3. 人間の生活と自然環境	
	10	エネルギー 第1章力の合成と分解 1. 水中で物体にはたらく力 2. 力の合成 3. 力の分解	3	第5章持続可能な社会をめざして 1. 科学技術の発展と課題 2. これからの社会を担う	
	11				

